

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

- 1.カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- 2.本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

- 1.返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2.図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

- 1.図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- 2.パソコンやスマートフォン等で探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

- 1.予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2.パスワードを登録すると、パソコンやスマートフォン等から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

<https://lib.ehimetosyokan.jp/>

★開館時間★ (火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日) 9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日)

←スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 77 2023. 3

★YAコーナー展示★3月～5月



眺めるだけじゃもったいない
～表紙も楽しむ本～

★新刊案内★

- ☆『オタクを武器に生きていく』吉田 尚記／著 河出書房新社
- ☆『ヤングケアラー 考えよう、だれも取りのこさない社会へ』
濱島 淑恵／監修 文溪堂
- ☆『おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った 世界ことわざ紀行』
金井 真紀／著 岩波書店
- ☆『直感とちがう数学』葉一／監修 タカタ先生／原案 Gakken
- ☆『認知症のわたしから、10代のあなたへ』さとう みき／著 岩波書店
- ☆『10代のためのココロとカラダの整え方
自分でできる&ラクになる自律神経コントロール』
吉田 誠司／監修 メイツユニバーサルコンテンツ
- ☆『黒板アート甲子園作品集2019-2022 チョークに込めた熱き想い』
日学株式会社／総監修 日東書院日学株式会社／総監修 日東書院
- ☆『文章がフツーにうまくなる とっておきのことば術』
関根 健一／著 大修館書店
- ☆『夜叉ヶ池』泉 鏡花／著 しきみ／絵 立東舎
- ☆『手で見るぼくの世界は』櫻崎 茜／作 くもん出版

眺めるだけじゃもったいない ～表紙も楽しむ本～

2023年3月1日～5月30日

『まく子』

西 可奈子／著 福音館書店 2016

小5の慧が暮らす温泉街に、コズエという少女が転校して来ました。自分を宇宙人だと話すコズエの不思議な言動に、慧は振り回されますが…。子どもと大人の狭間で揺れ動く登場人物たちの、透明感あふれる物語。著者自身が描いたインパクトのあるサルを表紙絵に、目を奪われます。



『愛なき世界』

三浦 しをん／著 中央公論新社 2018

洋食屋「円服亭」で働く藤丸陽太は、出前で訪れたT大学で、院生の本村紗英に出会います。植物の研究に没頭し、特にシロイヌナズナに夢中の本村に藤丸は恋をしますが、この恋は叶うのでしょうか？深い青色の背景に、植物が浮かび上がるように描かれた美しい装幀で、思わず手に取ってみたいくなる一冊です。



『ファンタスティックガール』

キム・ヘジョン／著 清水 知佐子／訳 小学館 2022

17歳の美少女オ・イエスルは、モデルになるのが夢。ある日突然タイムスリップして10年後の自分と出会います。思い描いた未来の自分とかけ離れた姿に、愕然としますが…。元気いっぱい韓国の青春ストーリー！表紙の真っ赤な背景に、大きな目の女の子はイエスルです。裏表紙に描かれているのは誰でしょう？



『世界地図の下書き』

朝井 リョウ／著 集英社 2013

児童養護施設「青葉おひさまの家」で暮らす子どもたち。それぞれにづらい過去や家庭の事情を抱えながら、支え合って生きています。表紙のイラストは、新居浜市出身でスタジオジブリのキャラクターデザイン等を手掛けたアニメーター、小林勝也氏によるもの。優しいイラストが、物語のイメージを掻き立てます。



『わたしの全てのわたしたち』

サラ・クロッサン／著 最果 タヒ、金原 瑞人／訳
ハーパーコリンズ・ジャパン 2020

結合双生児のグレースとティッピーの姉妹。二人でいることが「普通」のことでしたが、高校に通い始めたことで、生活に変化が訪れて…。詩の形式で、繊細に綴られた物語。姉妹のシルエットが印象的な表紙は、ブックデザイナーの祖父江慎氏が手掛けています。



他にも、抽象的な青い模様が目を引く表紙の『十代に共感する奴はみんな嘘つき』や、イラストレーターの中村佑介氏が表紙絵を描いた『アート少女 根岸節子とゆかいな仲間たち』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。
アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。

